

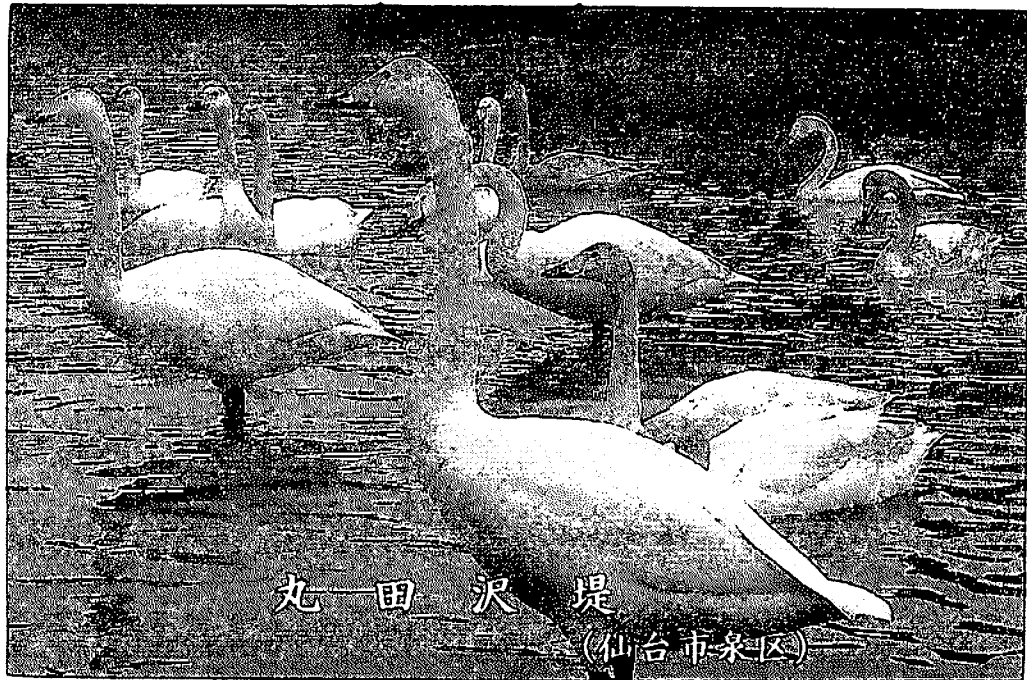
# 白鳥

第181号

全国低肺機能者グループ  
東北白鳥会

〒980-0022  
仙台市青葉区五橋2-12-2  
仙台市福祉プラザ8F

## 総会特集



丸一田沢堤 (仙台市泉区)

表紙の写真は岡田 功氏の作品です

東北白鳥会は、左記の項目の実施を切に要望します。

- ・ 内部障害者等級の見直しと福祉制度の向上
- ・ 肺移植の助成と医療費の保険適用
- ・ 保健所の呼吸器教室を制度化し全国実施
- ・ 訪問診療、看護、介護の充実とリハビリ指導
- ・ 呼吸療法士資格の設置と知識の普及
- ・ 禁煙普及・公共機関等の無煙化
- ・ 呼吸器科医師の増員と熟練医師の再任制
- ・ 通院サポート制度の確立
- ・ 低肺ホームの設置
- ・ バルスオキシメーターの貸与
- ・ 呼吸不全者の三級医療費助成

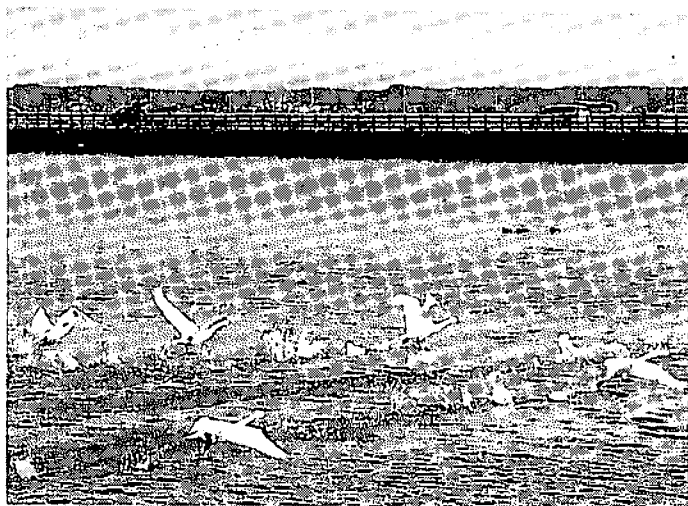
地域の皆様のご理解とご支援により、一日も早い施策の実現を懇望致します。

### 目次

東北白鳥会会歌「明日の空へ」	1
巻頭言 白鳥会総会を終えて	2
総会のメッセージ・祝電披露	2
平成十八年度総会報告	3
定期総会が行われました	3
総会を終えて	3
呼吸不全対策議員連盟の発足	6
山形県支部便り	6
委員便り	6
委任状に添えての近況	6
転倒防止教室	6
家庭で作れる効能ある薬膳	6
チャリティコンサートのお知らせ	6
話のタネ二題	6
編集後記	6

46 45 43 42 37 34 30 29 28 26 24 17 3

## 東北白鳥会会歌



## 「明日の空へ」

作詞 梶本 繁行  
作曲 中尾 司

一 雲のたなびく 美しさ 土の温もり かぐわしく  
人にわからぬ においまで 知れる喜び 我にあり  
明るく強く 夢いだき

二 水の流れの よどみなく ふるさと山河の豊かさよ  
膨らまぬ胸 膨らませ 今日も励まんりハピリを  
友と歩みて 夢いくつ

三 草の緑の やわらかさ 人の心の 優しさよ  
か細き息を 吐きながら 命たたえて 越えてゆく  
明日の空へ 夢かさね

「明日の空」は、「東北白鳥会」と姉妹会「徳島O2会」との友好と交流の親善中に、会員を励ます歌として、徳島O2会の当時の会長 梶本繁行さんに作詞を依頼、出来上がった詩に会員の中尾美枝子さんのご主人、司さんが作曲されました。一九九〇年五月、声の出せない会員の代わり、岩城美和先生によって披露され、その後毎年の総会に歌われています。

# 巻頭言



## 白鳥会總會を終えて

東北白鳥会 会長 渡谷 幸

まだ梅雨のさなか、六月の七日、十八年度の總會が、仙台市福祉プラザで行われました。当日は、雨も降らず、まずの天候でした。

總會には多くの来賓と、会員の方々がご参加いただいて、まことに実りある總會となりました。最近になって各方面からのご支援やら、ご協力があつてようやく社会での認知が深まりつつあります。

そのひとつに、内科学会との連携で作られた呼吸器患者団体連合会であります。学会の先生方が骨段のお忙しい中を、われわれとともに厚労省に足を運んでくださり、患者たちの実態を説明され、その後の成果となって現れていることでもあります。

もひとつは、本年になつて超党派の国会議員による議員連盟が発足したことであります。その成果はこれからありますが、政活の場に極めて大事な運動の場が初めて出来たことで、大きな期待を持って活動が出来るものと思っております。

会長には、坂口前厚労大臣が就任され、この会の発足は遅きに失したと挨拶されておられました。遅くなった分今後に期待が大きいものと思っております。このような形で、社会に確実な歩みを稼ぐことで、大きな進展が図られるものと期待をしております。

会員の皆様も体の衰えを訴えられる方も多く見られ、一段と寂しさを覚えますが、まだまだ梅雨の盛りを見せしておりますのでお体に留意されお健やかにお過ごしされますようお願い申し上げます。

## 総会のメッセージ・祝電披露

宮城県知事 村井 嘉浩

平成十八年東北白鳥会定期総会の開催を心からお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、低肺患者の皆様福祉の向上のため、渡谷会長をはじめとした会員皆様の日ごろの活動を活動に對しまして改めて敬意を表します。

さて、本年四月から降雪のある方々が自主して共に地域で暮らせる社会を目指す「障害者自主支援法」がスタートしております。新制度の下、降雪のある方々に對して適切なサービスが提供されるよう、市町村とともに円滑な移行と安定的な運用の確立に向けて体制の整備を進めておりますので、引き続き皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴会の今後ますますの御発展と皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げます。

仙台市長 梅原 光孝

東北白鳥会 平成十八年第二十三回総会が開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

貴会には、日頃より低肺機能の方々の福祉の向上のために、様々な活動を続けてこられましたことに対し、深く感謝を申し上げますとともに、渡谷会長をはじめ、会員の皆様のご尽力に、心から敬意を表すところでございます。

本市といたしましても、障害者福祉の向上に向けて各種施策の推進に努めて参りますので、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。本総会が実り多いものとなりますよう、ご期待申し上げますとともに、貴会の今後ますますのご発展と、会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

宮城県医師会 会長 師 研也

平成十八年度東北白鳥会第二十三回総会開催をお祝い申し上げます。

会員の皆様方がそれぞれの障害を抱えながら白鳥会を支え、すばらしい活動を続けられていることに深く敬意を表します。

白鳥会の皆様方に必要な医療、福祉面の改善、充実が一層計られるよう期待しますとともに、貴会のますますの発展に向つて総会が意義ある成果をおさめられることをお祈りいたします。

外務大臣政務官

衆議院議員 伊藤 信太郎

平成十八年第二十三回総会のご盛会をお喜び申し上げますとともに、日頃における皆様方のご活躍に感謝と敬意を表します。

私も、福祉事業に関しましては皆様方の意を解し、皆様と共に要請等の実現のため国政の場に於いて推進して参ります。

最後になりますが、渋谷会長をはじめ、会員皆様のご健勝と、東北白鳥会の益々のご発展をお祈りいたします。

衆議院議員 西村 明宏

平成十八年東北白鳥会第二十三回総会のご盛会を心よりお喜び申し上げます。

貴会の皆様が社会福祉の向上と改善に努めておられますことに深く敬意と感謝を申し上げます。医療と

福祉の向上を目指しご尽力されておられます東北白鳥会の更なるご発展と渡谷幸会長ならびに貴会皆様  
の益々のご健康を心よりお祈り申し上げます。

参議院議員 桜井 充

東北白鳥会平成十八年総会のご開催を心からお慶び申し上げます。

癸足より長い年月にわたり、ご尽力をなされております皆様に敬意を表します。微力ではありますが、私も医師として、そして国会議員として、渡谷会長はじめ会員の皆さんが安心して生活が送れるように、これからも頑張っていきたいと考えております。最後になりましたが、東北白鳥会の益々のご発展と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

宮城県議会議員 石橋 信勝

平成十八年の総会の開催、まことにおめでとうございます。

低肺に苦しむ皆様がお互いに励ましあい、福祉の向上をめざしいつも一生懸命ご努力されているお姿に頭の下がる思いです。これも、村上前会長の遺志を受けつぎ、渡谷会長を中心に団結し要望事項の実現をめざし頑張っておられるからにはほかなりません。

本日の総会を契機に、皆様の会が益々発展し、皆様の地位が向上されていかれますよう心からお祈り申し上げます。私もそのために少しでもお役にたてますよう頑張ることをお誓い申し上げます、メッセージといたします。

宮城県議会議員 若地 文博

東北白鳥会平成十八年第二十三回総会の開催を心からお祝い申し上げます。

また、会員の皆様には澁谷会長を中心に同じ障害に悩む会員の方々との更なるコミュニティを深められ、呼吸器障害についての理解を広める活動、医療向上に努められるなど幅広く活動を展開されております。ご苦勞に心から敬意を表します。

今年度より介護保険制度の改正の実施や、障害者自主支援法が施行されました。しかし、利用者主体の福祉サービスの視念に立っていないのでは等、もうすでに様々な問題点が指摘されております。利用者の視点での福祉サービスの充実が計られなければなりません。

本日の総会が実り多き総会となりますことを心より祈念申し上げます。また会員の皆様のご健勝とご多幸をあわせてお祈り申し上げます。

宮城県議会議員 長島 秀道

東北白鳥会平成十八年総会の開催を心からお祝い申し上げます。また、会員の皆様には澁谷会長さんを中心と同じ障害に悩む会員の方々との連携を深め、呼吸器障害についての理解を広める活動、医療向上に努める研修会の開催など、幅広い活動を展開されておりますことに心より敬意を申し上げます。

昨今は皆様の生活環境にも少しずつ改善が図られてきました。呼吸器リハビリが診療報酬の給付の対象になり、介護保険においても在宅介護における呼吸器リハビリが対象になるなど極めて画期的な改正だと思います。

しかし、本当に安心して日常生活を送るためにはまだまだたくさん課題が山積しております。皆様の要望

が一つでも多く一日も早く実現されるよう、私も県議会の場で一層努力して行きたいと思っておりますので、白鳥会の皆様も病に負けることなく頑張つて戴きたいと思っております。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

宮城県議会議員 中澤 幸男

今年もまた総会の時期が参りました。この一年間のご活躍に敬意と感謝を申し上げ、病める方々のために今後もしもご支援、ご協力をお願い致します。

宮城県議会議員 ゆき みゆき

第十八回総会の開催誠におめでとうございます。

医療情報誌百八十号白鳥を拝読させて頂きました。

医療の最新情報や、宮城県喫煙率高さなど重要な情報がぎっしり盛り込まれていました。発行にあたり渡谷会長さんはじめ会員、ボランティアのみなさんに心より感謝いたします。さて、障害がある人の生活は、障害者自立法の施行に伴い大変厳しい状況に追い込まれています。

「障害者が地域で安心して暮らせる環境整備」を目標に、内部障害者の等級見直しと福祉の向上など十一の要望をしっかりと受けとめ宮城県においてノーマライゼーションの実現のためにさらに努力して参ります。



東北白鳥会会員の皆様のご健康を祈念して

仙台市議会議員 熊谷 善夫

光陰矢の如し、今年も早や半ばに至ろうとじていますが、ここに平成十八年度総会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

前会長さんをご逝去されて二年になりますが、皆様が渡谷会長さんを中心に会の目標に向って躍進を続けておられることに、深く敬意を表します。

私は皆様の会とお付き合いをいたしてから二十年近くになりますが、いつも会員皆様が体調よろしくない状況にありながら、互いに励まし合い、情報を共有しつつ、社会や行政に強く訴え続けておられる姿に感動を与えられております。そして同時に、この会の運営にご尽力されておられます多くのボランティアの皆様にご感謝しております。

私は議員活動を通してこの会への支援を訴えてまいりましたが、今後も多くの行政の課題に取り組みさせていただきます。ただくつもりです。

この総会を契機に東北白鳥会がさらに充実発展されますように、そして会員皆様のご健康が増進いたしますようにお祈り申し上げます。

東北白鳥会の総会によせて

(財)仙台市身体障害者福祉協議会 会長 大沼 修

日々に新緑の色が濃くなり、風の香りもさわやかになりつつある六月の日に平成十八年度第二十三回の「東北白鳥会」定期総会開催を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。

二十三年間という長い期間にわたり、地道で粘り強い活動を続けられてきた東北白鳥会の皆様と渡谷

会長をはじめとする役員の方々の努力と熱意に敬意を表します。

皆さんすでにご存知のように障害者にとって大変厳しい「障害者自立支援法」が本年四月から施行されており、これは、少子高齢化という社会構造の変化が急速に進みつつあるわが国の、社会保障制度の根本的見直しが必要になったためと思います。

しかし、この改革は多くの所得の低い人々にとっては一段と厳しい現状に位置されたといわざるを得ません。各サービスに対する一割負担や、食費、居住費の実費負担金の増大は、障害者の生活困難の度合いが深まる現状にあります。

十月には、第二段階の施策が行われる予定になっておりますが、その内容はまだ明らかになっておりません。このような状態を乗り切るためには我々には（この法制度ばかりでなくすべての障害者福祉制度についても）制度そのものを精査し、有効な活用を図ることが大切であり、この難しい局面を凌ぐ手立てに必要なものではないかと思えます。したがって、アンテナを高く張って情報を収集し学習を行って障害者に有利な点を見出し、この難局を乗り切っていければと思っておりますので、皆様のご協力をいただいとともに進んで行きたいと思えます。

最後に、「東北白鳥会」が楽しく活発な活動をされ、さらに大きく発展されとともに会員皆様のご健康をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

二〇〇六年東北白鳥会総会によせて

東北厚生年金病院 名誉院長 藤村 重文

東北白鳥会第二十三回総会が開催されるに当たりご挨拶申し上げます。

二〇〇六年冬は全国的にも寒く雪の日が多く、日本海側の記録的な豪雪や特急の脱線事故などが

まだ記憶に新しいところです。二月報道では寒波と豪雪によって戦後三番目となる一三二人もの方々が亡くなられ、その三分の二がお年寄りであったということです。

この冬からこれまで白鳥会のみなさんは如何お過ごしだったでしょうか。慢性呼吸障害をお持ちの方々は、冬に限らず禁煙やカゼ予防やワクチン接種などを励行し、細心のご注意を払われ、また、かかりつけの呼吸器科医のアドバイスも守られたことと思います。

二〇〇六年四月医療における診療報酬がマイナス三・一六パーセントに改定され、医療費抑制が益々厳しくなつてきています。呼吸障害に関しても決して満足すべきものでなく、全体としては在宅医療推進の方向性が見えています。

呼吸健康管理や治療を安心して受けられるようになるには、今後さらなる努力が必要ですが、東北白鳥会の皆様とともに将来に希望をもつて、前向きに進みたいと思います。

東北大学医学系研究科内科学分野 教授

(東北大学病院リハビリテーション部長) 上月 正博

東北白鳥会の第二十三回総会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

二十年以上の永きにわたり、呼吸器疾患患者さんのリーダーとしての役割を果たされてきた東北白鳥会の皆様の活動を敬意を表します。

昨年、在宅酸素療法患者におけるADL・不安・呼吸リハビリの参加と内容の実態を明らかにするために、調査に同意の得られた宮城県内在位の在宅酸素療法患者の皆様を対象にアンケートを実施させていただきました。多数の質問であるにもかかわらず、ご協力をいただき誠にありがとうございました。その結果、呼吸リハビリの経験がある患者さんは、四二%、呼吸リハビリの説明を受けたことがある患者さんは四四%にしか

過ぎないことが明らかになりました。さらに、呼吸リハビリの説明を受けた患者さんの八七%は呼吸リハビリを行ったことのない患者さんの九一%は呼吸リハビリの説明を受けていなかったことが判明しました。呼吸リハビリ経験のある患者さんが自信のある項目の割合は、「口すばめ呼吸、腹式呼吸」、「薬の飲み方・吸入法」など呼吸リハビリ未経験の患者さんに比較して明らかに高値であり、指導内容の頻度とも一致していました。在宅での運動療法、腹式呼吸、口すばめ呼吸を行っている割合も呼吸リハビリ経験のある患者さんでは高値でした。医師や患者さんに呼吸リハビリの重要性・有効性をもっと知っていただく努力を私わなくてはならないことが明らかになりました。

折りしも本年四月の診療報酬の改定で、呼吸器リハビリテーション料が新設されました。まだ診療報酬点数の低さ・適用期間の短さなど今後改善の余地はありますが、呼吸リハビリの普及には大きな一歩であると考えられます。この診療報酬の改定を機に呼吸リハビリの一層の普及を回りたいと存じますのでご協力の程よろしくお願いいたします。

貴会の益々の発展と皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

東北大学加齢医学研究所呼吸器再建研究分野 教授 近藤 丘  
東北白鳥会の第二十三回総会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

わが国における脳死下での提供を受けての肺移植は、二〇〇〇年三月からこの三月までの間で二十七例が行われました。年間平均すると四例ほどの数になりますが、わが国の人口を考えますと非常に少ない数にとどまっているといえます。

現在開催されている通常国会において、臓器提供に関する要件を改訂するための法案が提出されようとしております。先日マスコミ報道では、これに反対する団体の意見も放送されましたが、臓器提供の大前

提である脳死の条件については全く変更がないことが理解されていない、まことに残念な外的意見でありました。もちろん近親者の同意は必須でありますので、脳死そのものについても何が何でも受容しなくてはならないという事にはなりうるはずがないものであります。

また、これとは別に昨今のマスコミでも取り上げられていますように、欧米はもちろん、中国や東南アジアでの臓器移植を日本人が求めて出かけている事実があります。日本の脳死は問題があるが、外国人の脳死を受容し、臓器移植を受けけるのは自由であるという理屈は成り立たないものと思えます。もちろん反対の方は本人・家族ともに反対を表明する権利は保障されております。諸外国と同等の取り扱いをすることを考えなくては、このままではいずれ諸外国から非難を浴びるのは目に見えている事でありましょう。諸外国でも臓器提供は不足し、提供者の出現を待っている患者さんは沢山いるのですから、こういったわが国の状況を可能を限り早く是正し、善意の提供者からの臓器によって一人でも多くの臓器機能不全の方を社会復帰させるべく、移植を行う立場の人間として力を尽くしております。呼吸不全の方の中には肺移植で救われる方も多数おられます。

この四月から保険が適用され、費用的にも大幅に負担が軽減され、多くの方にその機会が提供され得る社会環境が整ってきました。しかしながら、臓器提供の希望が少しでも多く生かされる仕組みが整えられなければ、せっかくの費用軽減も意味の少ないものとなってしまいます。

先日マスコミ報道ではアメリカのマイアミ大学で働く日本人の医師の声も紹介されておりましたが、アメリカにおいても臓器移植医療を大きく推進してきたのは当事者である患者の皆様の声である、ということを強調しておりました。東北白鳥会におきましては、このような事情をご理解のうえ、一人でも多くの声を社会に反映するべくお力をいただきますようこの場をお借りしてお願いをする次第です。

東北大学加齢医学研究所呼吸器再建研究分野 助教授 磯辺 彰

白鳥会第二十三回総会の開催、おめでとうございます。

青景重る良い季節となり、白鳥会の皆様には爽やかな日々を満喫しておられるものと思います。本年は第二十三回目の総会を迎えられた訳ですが、会の活動が行政をも動かすようになるなど大きな成果を挙げておられることに敬意を表する次第です。

さて私は、去る四月二十七日と二十八日の二日間、仙台国際センターにおいて第八十一回日本結核病学会を主宰いたしました。白鳥会の皆様の中には、過去において肺結核を患われ、その治療としての手術する・しないにかかわらず肺機能の低下を招いて呼吸不全となつてしまった方が沢山おられます。肺結核に対する当時の最先端の治療も結果として万全と言えなかつた訳ですが、これを上回る治療が当時はなかつたのも事実でした。

しかし、結核に対する治療はその後大きく進歩しました。治療だけでなく、診断や予防、さらに疫学、公衆衛生、看護、国際協力など結核への取り組みは以前にも増して進歩しており、この学会ではその成果が数多く紹介されました。私は、このような学術発表の場をお世話することになり皆様の今後の生活が充実したものにすれば幸いです。私は、このような学術発表の場をお世話することになり皆様の今後の生活が充実したものにすれば幸いです。私は、このような学術発表の場をお世話することになり皆様の今後の生活が充実したものにすれば幸いです。

皆様には今後とも是非ご声援を賜りたく、また、皆様自身も前向きに白鳥会の活動を進められますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

仙台循環器病センター 呼吸器科 部長 岡山 道子

東北白鳥会第二十三回総会の開催を心からお祝い申し上げます。渋谷会長のもと白鳥会の皆様の日々のご努力の賜物と敬意を表します。

今年はいつまでも寒さが続き、桜の開花も遅れましたが、白鳥会の皆様は、新緑と満開の桜が重なる美しい季節を心ゆくまで味わわれました。息切れない生活を目指す呼吸不全の皆様にとりまして、在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法に加え、インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンなどによるインフルエンザ、肺炎予防、充分な栄養摂取、適切なリハビリが重要ですが、それに加えて、お互いを尊重し信頼して励まし協力しあえる人と人との関係が大切なことと存じます。私も医療を通じて、皆様のお役に立つことができれば嬉しく存じます。

皆様のさらさらの良いささえとなるよう、白鳥会が一層発展されることを祈念致すと共に、皆様のご健康を心よりお祈りいたします。

福田内科クリニック 院長 福田 陽一

第二十三回総会おめでとございます。

寒かった冬も終わって、桜の季節が過ぎ、総会の頃にはそろそろ桜並木が美しい頃になっているかと思えます。

日々、新しい訪れがあります。体調に不安がある方も朝を迎えると元氣が出てくることが多いものです。いつも或持ちは新鮮に持ちたいものです。

明日を明るく見据え、どうか体調の管理に注意され、梅雨や暑い夏を乗り切って下さい。医療や介護が色々と変わってきていますが、少しでも安心して過ごしていただけるよう、出来るだけの支援をさせていただきます。くつもりでおります。どうぞよろしくお願い致します。

全国低肺機能者団体 徳島の会 名誉会長 湯浅 善三夫

第二十三回東北白鳥会総会が開催されますことを心より御祝い申し上げます。

村上きみ子前会長さんの御遺志を引き継ぎ、渡谷章会長さんのもと各役員他会員一同様が歳多の困難を克服し、会の運営に尽力されました。ご苦勞は言い尽くせないものであろうと思います。同じ悩みや不安を持つ患者さんにとって、お互いに励まし合い親睦をはかることは大きな力となることと思います。

昨今、福祉助成行政が厳しくなり、私達障害者の生活の不安は益々大きくなりつつあります。今後、より一層友好の絆を結び、福祉行政の発展のため、共に働き掛けて行きましょう。

貴会の益々の発展と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

帝人在宅医療(株)仙台支店 仙台営業所 所長 竹林 達男

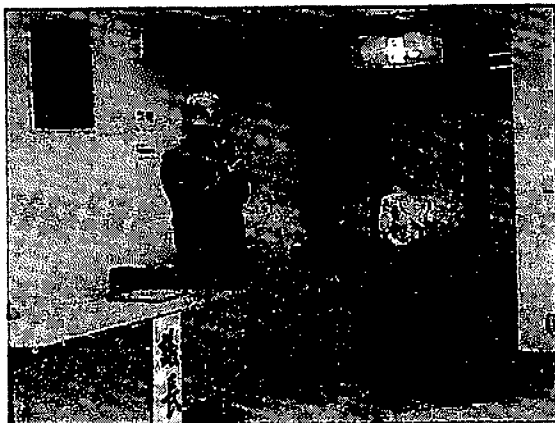
東北白鳥会様、第二十三回総会のご開催、誠におめでとうございます。

白鳥会様は、渡谷会長はじめ会員の皆様により毎年すばらしい活動をされていらっしゃる。心より敬意を表したく存じます。弊社は、主に在宅酸素療法を通じてお手伝いさせていただいておりますが、日々、患者様から様々なお問い合わせを頂戴しております。その中で、「患者会に入りたいのですが」というお問い合わせがよくございます。「同じような病気の人と知り合いになりたい」「情報交換ができたらなあ」と希望されています。是非白鳥会様に加わっていただければと紹介させていただいております。白鳥会様のすばらしい活動の数々は、私がいまさら申し上げるまでもありません。今、多くの患者様が利用されています。バルスオキスメータや電気代の助成に困しても、白鳥会様がご尽力されたと伺っております。白鳥会様に入りたい方は大勢いらっしゃると思います。

そういうこともございまして、帝人「HOT誌」に紹介記事を書いていただきました。六月発行になります。



渋谷会長の挨拶



出席会員の皆さん



是非多くの方にご覧いただきたく願っております。  
弊社は、本年も患者様の安心を第一に、少しでもお役に立てますよう、一層努力してまいり所存でございます。ご指導よろしくお願ひ申し上げます。  
最後になりましたが、東北白鳥会様と会員の皆様のみましますのご発展ご活躍を心よりお祈り申し上げます。